

富めるハリストスよ、爾は貧しくなりて、人々を不死と光照とに富まし給えり。求む、我、^{どせい}度生の逸楽に由りて貧しくなりたる者を諸徳に富まし、貧しきラザリに合せて、富める者の^{地獄}苦しみと我の前に在るゲエンナとを免れしめ給え。

(「三歌斎経」より)



仙台正教会
教会だより

2022年
11月号

仙台ハリストス正教会

〒980-0021 仙台市青葉区中央三丁目四二〇

TEL(022)225-2744

FAX(022)224-3080

http://www.sendai-orthodox.jp

orthodox@hyper.ocn.ne.jp

「主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられた。それはあなたがたが、彼の貧しさによって富む者になるためである」(コンリフ後8:9)。

「主は富んでいた」とは、ハリストスが神として天の栄光、尊貴、能力などに満ち溢れていることを表現している。しかし、その神・ハリストスは、「己をむなしくして」人となり「己を低くして」十字架につけられた。金口イオアンによれば、ハリストスの藉身と十字架という『貧しさ』によって私たちが得る『富』とは、敬虔の知識、罪の浄め、義認、成聖、数えられないほどの善行である。

さて第22主日の福音「金持ちと貧しきラザリの譬」は、この「富」と「貧しさ」がテーマとなっている。贅沢に暮らしていた金持ちの家の前に病気で倒れている貧しいラザリがいたが、金持ちはラ

ザリを助けようとしなかった。この二人が死んだ後、ラザリは「アブラハムの懷」と呼ばれる天国へ、金持ちは「火の苦しみ」のある所、地獄へ行った。

私たちは、この金持ちの中に自分自身を見いだす。財産はもっていなくても、「罪深さ」という点では大富豪かもしれない。

「主よ、我は諸慾と逸楽とに富める者にして、諸徳の乏しきを以ては貧しきラザリなり、然れども我を救い給え。」

大事なことは、財産をもってこの世を快適に生きるかどうかではなく、奢り高ぶっているかどうか、人に対して憐れみの心をもっているかどうかである。そして、そうした本当の意味での「富」は、私たちがために人となり十字架につけられた、つまり貧しくなられたハリストスをおして、真実に与えられるのである。私たちの人生の目的は、ハリストスによる救いを得ることである。そのために「然れども我を救い給え」と祈り、「主、憐れめよ」と願い、人を愛する心という「富」をいただこう。(D)

セラフイム大主教座下のご動静

セラフイム大主教座下は8月下旬に腰に異変が生じ、療養と通院治療が必要との診断を受けられた。ダニイル府主教座下は長期療養の必要を認め、回復を目指してリハビリを続けて欲しいとの希望を伝えられた。しばらく奉神礼執行を控えておられたが、10月16日(日)に、久しぶりに聖体礼儀を司祷された。ただし奉神礼の執行は、当分見合わせる予定で、今後もご体調を整えることに努められる。

なお同日、セルビアから一時帰国された山崎ヴェケリツチ洋氏と奥様のアナスタシア佳代子姉がお見舞いに来られ、祈禱後にサワ鐸木兄と共に応接室にて懇談された。



▲ 10月16日聖体礼儀 ご入堂と信徒領聖の様子



▲ 10月16日 祈禱後に山崎ご夫妻、鐸木兄と

誦経奉仕者研修会

東日本主教々区東北ブロックとして「誦経奉仕者研修会」を企画しました。下記日程により、一関ハリストス正教会にて開催致します。今回は、まずは「誦経の心得」というテーマで基調講話を聴いた後、実践も行って、よりよい誦経に少しでも向上できるような研修会にしたいと思います。

記

日時: 11月3日(木・祝日) 10時~15時

場所: 一関ハリストス正教会

内容: 基調講話「誦経の心得」(水口神父)
声や音、スピード等の注意点。言葉の理解、用語、間違いやすい言葉の解説。
奉神礼の流れ、暦、調などの説明。

実践「祈禱書を開く。声を出す、等」

参加費用: 1000円

東北ブロック宣教会議

10月20日(木)、東日本主教区東北ブロック宣教会委員が、一関正教会において開かれた。仙台からは水口神父とウエラ山中委員が参加した。連絡事項を確認したのち、今後の予定について話し合った。特に間近にせまった「誦経奉仕者研修会」の運び方について詳細に打ち合わせた。

また、教区報などの発行日や内容についても話し合われた。



境内樹木の剪定と伐採

10月4日(火)に、兼ねてからの懸案であった境内樹木の剪定と伐採が行われた。毎年イルミネーションを取り付けているモミの木の高く作業が困難になっていたのを受けて、高さを低くし、延びた枝葉も剪定された。また聖堂の北側にあったサンゴ樹は、毎年のように虫が大量発生していた関係で、思い切って伐採を行った。



聖堂入口のビニール新調



聖堂入口の風除けビニールがステファン高橋兄のご奉仕により新調された。

中新田正教会だより

水口神父の9月の中新田巡回は24日(土)と25日(日)に行なわれた。通常通り、勉強会と晩課、聖体礼儀と月例パニダが執り行われた。

また10月9日(日)には、代式祈禱の後、境内の垣根の植物の剪定を参拝者全員で行った。伸びていた枝葉を落としてすっきりし、見栄えがよくなった。これからも教会の美化に心がけていきたい。



▲ 生垣剪定奉仕作業の様子

図書案内

『黙然をりて』

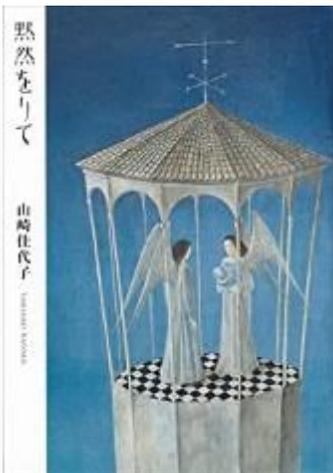
山崎佳代子 著

先号に続いてセルビア在住の正教徒で翻訳家・詩人のアナスタシア山崎佳代子姉の詩集を紹介。

「言葉が失うとき、言葉を奪われるとき、言葉が消えるとき。言葉のない世界をつつむ空の記録が『黙然をりて』である。セルビア、南イタリヤ、日本の旅の記憶をそつと重ねた。」(著者メッセージ)

(2022・3・10 出版社：書肆山田)

※お求めは各自、書店やウェブで



人間とは誰なのか その1

著 府主教カリストス・ウエアー
 翻譯 長司祭 ダヴィド 水口優明

人間とはどんな種類の動物なのだろうか？ 他の動物と私たちを別け隔てせずに、動物と我々を区別するものとはいったい何だろうか？

私は、今、「別け隔てせずに」と言った。現在、人間のユニークな所と見られているいくつかの特質は、人間より少し劣るだけで他の多くの動物も持っている、普通、言われるからである。例えば、動物の大半は、ものを考えている。そういう意味では、動物は、ある障害に直面した時、それが解決するまでずっと悩み考えつづける。

多くの動物は、過去の恐れや喜びを思い起こす、いわゆる記憶をもっている。その馬主から、何週間かもしくは何年間か引き離された馬は、再び馬主と会った時、かつての扱われ方の記憶によって、

恐怖に戦いたり喜びを示したりする。一夫一婦制で生活しているある動物は、パートナーを失った時、悲しみを、もしくはそれに似た感情を表す。しかし、たとえそうだとし、やはり人間として別格の特性があることを見極めることはできないだろうか？ 私たちのこの問いには、人間の五つの「特性」が答えてくれ



るだろう。それらの真実の部分を説明しよう。

(1) 「笑う」「泣く」という特性

人間は、笑いそして泣く動物である。私たち人間は、本質的にユーモアのセンスと悲劇を悲しむ感覚を持っている。もしそうなら、私たちは、自分たちが他の

動物にしていることを、また動物と人間を養う大地に対してしていることを思っ、もつと泣くべきである！

(2) 「理性をもっている」という特性

哲学者クリシップス (B.C.207没) によれば、人間とは、論理的または理性的な動物 (ロギコン・ゾーン) であり、自己を認識する力が与えられた動物であり、理路整然と順序だてて話し考える動物である。確かに、これは私たち人間についての意義深い真実の一つの面である。しかし、真実の核心からは、遠くかけ離れている。私の理性的脳のみが、私ではない。私はもつとそれ以上の者である。「我、思う故に我あり」と言ったデカルトの言葉から西洋哲学の伝統を支配しているのが、この理性的な自我の認識という面のみに集中する考えである。この狭い考え方は、実に現代の環境破壊の直接の一因となっている。

(3) 「関係をもつ」という特性

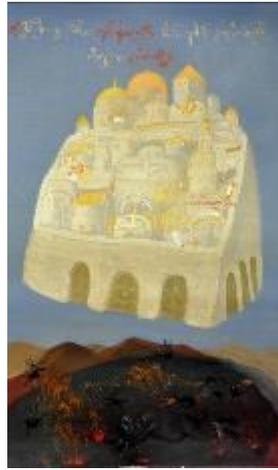
アリストテレス (B.C.322没) は、人

間とは社会的動物(ポリティコン・ゾーン)である、と述べている。これは、問題の核心により近づいている。「社会的(ポリティカル)」という語を、アリストテレス自身によって用いられているように、その元々の意味と拡大された意味に理解すると、人間とは、言い換えるなら、内なる人格関係のために創造された自然共同体であり、「ポリス(町)」という秩序ある組織された社会の中で生きる特別な適応能力をもっている。

私たちは、互いに愛し合う一つの神至聖三者の似姿として造られた。だからチャールズ・ウイリアムズが「お互いの生命のために死に、お互いの死を生きる」と言ったように、私たちは相互に一体化する人間性を持つと表現できる。ウイリアムズによれば、「自分だけで、実に自分一人だけで生きる人間はいない」というのが「町(ポリス)」の基本的な定義である。その生活は「非排他的」であり、その目的と典型的特色は「代用がきくこと」「互

いに容赦し合うこと」である。「町の特質とは何か? それは市民間でやり取りができることである」。

この半世紀において、町の象徴がいかに悲劇的に変化したことだろう! 「また、聖なる都、新しいエルサレムが、…神のもとを出て、天から下つて



来るのを見た。…都はすきとおったガラスのような純金で造られていた」(黙示録 21…2, 18)。まさにヨーロッパ文学において、庇護、安心、光栄のイメージだった「町」が、今や、自己中心、危険、腐敗のイメージになってしまった。確かにさまざまな形で起きている都市の環境汚染が、現在、その墮落の最も重大な面である。しかし、同時に、「社会的」動物とし

て相互依存しなければならぬことを、かつてないほどに私たちは自覚している。それにもかかわらず、「『世界は一つ』か、それとも『世界は破壊』か」というスローガンは、名句になるような真実をもっている。

(4) 「上を見上げる」という特性

人間を社会的動物として語ることは水平的な次元を強調することである。言い換えれば、私たちの関係とは、同種の他のメンバーとの人間関係である。しかし、この水平的次元の他に、垂直的次元が存在するのを見逃してはならない。すなわち、神との関係である。人間としてのこの第4番目の特性は、ナジアンザスの聖グリゴリー(390年)が、人間を「社会的動物」としてではなく「神成される動物(ゾーン・セオウメノン)」として述べる時に指摘した注意点である。神の像として造られたのだから、私たちは人間として、神の生命を分与され、「神の性にあずかる者」(第2ペテロ 1…4)となることができる。【続く】

11月聖名日
モレーベンのご案内

11月6日(日)聖体礼儀後

11月の聖名日モレーベンに該当する方々の一覧です。



▲ 聖大致命者ディミトリイ



▲ 聖致命女キリエナ

聖名日	聖名	氏名(敬称略)
11/2	アルテミイ(アンティオキアの聖大致命者)	針生晶朗
11/5	イヤコフ(聖使徒)	道家和夫、横山 渉、若松勝也
11/8	ディミトリイ(フェサロニカの大致命者)	小野嘉耶、小幡楠城
11/9	カペトリーナ(聖致命女)	早坂美穂
11/11	アナスタシヤ(ロマの聖致命女)	大槻和恵
11/12	ジノビヤ(キリキヤの聖致命女)	遠藤宏美
11/14	ダミアン(メソポタミアの奇蹟者廉施者)	岡 潔、遠藤正義
11/14	キリエナ(聖致命女)	小堀彩華
11/20	ラザリ(ガリラヤの克肖神父)	小野寺洋
11/24	ビクトル(ロマの聖致命者)	土田貴一郎
11/25	イオアン(コンスタンチノーブルの大主教金口)	高橋哲郎輔祭、勝又良樹
11/26	マネファ(カッパドキヤ・ケサリヤの聖致命女)	鈴木いく子
11/29	マトフェイ(聖使徒福音者)	針生勝通、横山毅、土田定克、佐々木隆

献金報告

(4.9.21~4.10.23)

○聖堂内献金 六万八千七百二十一円

○敬老会感謝献金

五千元 平塚郁子、早坂盤、千葉温、遊佐せつ子、岡多喜子、

○聖名祭感謝献金

三千元 平塚郁子
二千元 岡潔

○感謝献金

一万元 山崎佳代子
三千元 佐藤明子、権藤順子

○パニヒダ献金

十万元 木村富喜子
五万元 岡多喜子

一万元 大立目謙直
五千元 八文字惣一、木村良治、熊谷天

津子、熊谷道子、早坂盤、笹川皓
三千元 永元道子、山田喜美雄、熊谷経

光、高橋嘉彦、木村史之、村井
恵子

二千元 大立目謙朗

千円 古田直子、小原淑子、千葉温、
岡崎雄俊、飯塚順子

※敬称略



執事会報告

令和4年10月2日(日)

午後12時40分～14時 3階会議室

- 一、報告事項
- ・信徒懇親会

東北ブロック信徒懇親会が9月19日に一関教会で開催。仙台より3名が参加。全部で40名が懇親を深めた。

- ・教区会議事録

議事録が作成された。各神品、理事、代議員に送付された。仙台では本日該当者に手渡しした。

- ・会計報告 一般/収益

1階事務所で会計ソフトとして使用していた弥生会計が不調で使用不可となった。今後、水口神父がフォーマット作成したエクセルを使って会計処理をする。

- 二、協議事項

(1)七五三モレーベン

11月6日予定。プレゼント用袋を今月中旬までに作成し、下旬頃にお菓子を調達する。

(2) 二〇二三年教団発行教会カレンダー前回と同様に一八〇部を注文する。

(3) エレベーター

経年劣化による制御盤内基盤取替26万4千円、電解コンデンサ取替2万円が三菱電機より提案された。検討の結果、発注する。ただし、半導体不足の状況であるため、実際の工事は半年以上後になる可能性が大きい。

三、その他

- ・方舟会

11月27日(日)クリスマスツリー電飾奉仕の後に、総会を開く予定。

- ・聖歌隊

11月13日(日)に総会を開く予定。

- ・仙台正教会一五〇周年記念

一五〇年祭準備委員会を、年末までに立ち上げて第一回会合を持ちたい。方舟会、婦人会、聖歌隊よりそれぞれ1名ずつ、執事会より3名、合計6名。



聖歌隊総会

コロナウイルス感染の状況により、のびのびとなってしまっておりました聖歌隊の総会ですが、コロナ感染状況もやや落ち着いてまいりましたので、以下の日時に、十分な対策を取った上で総会を開催いたします。

日時: 11月13日(日)

聖体礼儀・月例パニヒダ等終了後

場所: 信徒会館3階

持参: 事前配布した聖歌隊総会資料

方舟会総会

以下の日程で「方舟会」の総会を開催いたします。当日は代式祈祷となり、その後にクリスマスツリーのイルミネーション取り付け作業がありますので、ご奉仕もお願いします。作業終了後に総会を開始いたします。

日時: 11月27日(日)

代式祈祷・

イルミネーション取付奉仕後

場所: 信徒会館4階

11月行事・奉事予定



5日(土) 主日徹夜禱 第4調 (17時)

6日(日) 第21主日聖体礼儀 (10時)

書札 ガラティヤ 2:16・20

福音 ルカ 16:19・31 [第22主日分]

※ 七五三・聖名日モレーベン

定例執事会

12日(土) 主日徹夜禱 第5調 (17時)

13日(日) 第22主日聖体礼儀 (10時)

書札 ガラティヤ 6:11・18

福音 ルカ 8:26・39 [第23主日分]

■月例パニヒダ

◇ミニ講話 / 方舟会

※ 聖歌隊総会

13日(日) 中新田正教会・代式祈禱 (10時)

19日(土) 徹夜禱はお休み 第6調

20日(日) 第23主日代式祈禱 (10時30分)

書札 エフエス 2:4・10

福音 ルカ 8:41・56 [第24主日分]

※ この日は代式祈禱となります。聖体礼儀は行われませんのでご注意ください。
◆ 聖堂清掃奉仕の日

19・20日 水口神父白河出張

19日(土) 18時 主日徹夜禱

20日(日) 10時 主日聖体礼儀

26日(土) 徹夜禱はお休み 第7調

27日(日) 第24主日代式祈禱 (10時30分)

書札 エフエス 2:14・22

福音 ルカ 10:25・37 [第25主日分]

※ この日は代式祈禱となります。聖体礼儀は行われませんのでご注意ください。

※ 方舟会総会

26・27日 水口神父中新田出張

26日(土) 16時 勉強会 / 17時 晩禱

27日(日) 10時 主日聖体礼儀

／月例パニヒダ

28日(月) フイリップの齋の始まり

※ 「正教会暦」に従うため主日の福音の読み
に異同があります。ご注意ください。



11月の予定

【七五三・聖名祭感謝祈禱】→6(日)

【月例パニヒダ】→13(日)

【ミニ講話 / 方舟会】→13(日)

【聖歌隊総会】→13(日)

【聖堂清掃奉仕】→20(日)

【教会学校】→お休み

【方舟会総会】→27(日)

【伝道会 18時】2(水)、16(水)、23(水)、30(水)

※水は都合によりお休み



祈禱は予定どおり行われます。状況を見ながら十分お気をつけてご参禱下さい。

七五三感謝祈禱のご案内

七五三の年齢に関係なく
ご参加ください。

日時: 11月6日(日)

主日聖体礼儀後



(聖名日モレーベンと併せて行われます)

教会よりプレゼントを用意して
います。ぜひご参禱ください。